

Nコン全国へ3部門で出場!



放送部は6月11日・12日、第69回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会に全部門でエントリーし、創作ラジオドラマ部門（第1位）、ラジオドキュメント部門（第2位）、研究発表部門（第1位）で通過し、7月に行われる全国大会への出場権を獲得した。放送部のNHK杯全国大会出場は、第35回（昭和63年・1988年）に初出場を果たし、第39回大会では全国大会初入賞、第60回では全部門で全国大会出場を果たし、更に全国大会ではアナウンス部門で第3位、朗読部門で第4位、創作ラジオドラマ部門では入選（第5位相当）した経歴を持つ。第50回大会から連続出場を果たしている。

【写真：タウンニュース伊勢原版7月1日号に掲載】

KOJO NEVER STOPS 会長 八巻達也

後援会の活動にご理解・ご協力いただき感謝いたします。新型コロナウイルスの感染は収まりつつありますが、まだ予断を許さない状況が続いています。

全国や地区の大会は、無観客での実施があるものの、ほぼ通常どおり行われています。今年度も各部活動の大会結果や成績の躍進は止まりません。後援会は学校と協力して部活動への支援を継続して取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

「自己肯定感」を高めてこそ 校長 直理賀一

550名の新入生が入学しました。今年度より文理コースの「クラブ加入制度」を廃止し、生徒の自主性・主体性を育成する部活動へと方針を変更。それでも1年生の部活動加入率は83%、全体で75%と高い数値となり、学習と部活の両立を目指す生徒達がいいます。昨年度は硬式野球、バレーボール男子、女子ソフトボールの関東大会出場するなど多くの部が活躍。令和の時代は自己肯定感が高く、自主的・主体的に判断し動ける人材が求められます。部活動での経験を通して高めていけるよう取り組んでいます。皆様のご支援は、生徒の「大きな力」になっています。今年度も、ご協力をお願いします。

協力金をいただいた企業様 ありがとうございます

(株)横浜総合写真
(有)小島造園土木
(有)湘南マット

敬称略・順不同

WEBページ開設!

向上高等学校ホームページに後援会のページを開設いたしました。会報とともに楽しみください。

後援会のページはこちら
https://www.kojo.ac.jp/supporters_main/



関東大会出場！関東の場でKOJOパワー全開！！

文芸部

「青瓶」部誌で評価！

文芸部は、今年6月19日に行われた関東大会県予選に「青瓶」と書いて「ラムネ」号という部誌を制作して出品した。この作品はノスタルジックな雰囲気のある作品を多く載せた部誌を制作し、関東大会（神奈川県）へ駒を進めた。関東大会当日は、自県開催でもあるので、参加する他高校生へのおもてなしをするとともに、多くの作品に触れる機会を得られる。

レスリング部

4年ぶりの関東へ！

レスリング部は、今年6月4日～5日に茨城県「アダストリアみとアリーナ」にて第68回関東高等学校レスリング大会が開催された。2年生の篠田昂さん80キログラム級のグレコローマンスタイルで出場。初戦は、山梨県韮崎工業高校と対戦した。4対5で惜敗した。大会後、篠田さんは今年9月の県予選・来年2月の関東大会に向けて、すでに調整を始めている。

硬式野球部

秋の関東大会へ！

硬式野球部は、昨年10月30日～11月7日に茨城県「ノーブルホーム水戸」で第74回秋季関東地区高等学校野球大会が開催された。結果は浦和学院に5-7で惜敗した。

野球部は昨年9月の県大会で準優勝し、創部以来初の秋季関東大会への出場を決めた。県予選準決勝は、桐光学園を相手に5-4で逃げ切り勝利し関東大会への出場を決めた。

ご支援をいただいた部活動の結果

新聞委員会・書道部・放送部

2021わかやま絵文・NHK全国大会報告

書道部は、昨年8月2日から6日まで白浜町立総合体育館で開催された書道部門大会に出場した。

新聞委員会は、昨年8月4日から開催された第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会新聞部門大会に参加し、年間紙面審査で最優秀賞を受賞した。

放送部の白井菜々香さん（当時2年）の全国大会は、8月4日、5日。会場は、かつらぎ総合文化会館で行われた。コロナ対策で対面での発表はこれが初めてとなった。また、昨年6月の第68回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県内大会で校内放送研究発表会部門で第2位となった。NHK全国大会はオンラインで参加した。

女子ソフトボール部

関東から全国へ

昨年11月23日、第17回関東私学高等学校ソフトボール選抜大会（埼玉県）に出場し、ベスト4入りした。

その結果、今年3月に行われた全国私学（熊本県）へ出場。リーグ戦の結果、1部トーナメントへ駒を進めたが2回戦目で惜敗した。

チアダンス部

より高度な技術に挑戦

今年3月、USA School&College Nationals 2022 全国選手権大会のSong/pom部門に出場した。曲目はZeddの「365」をメインにしたリミックス。結果は第11位で、審査員からは「アームモーションの強さが良かった」と評価された。

写真部

「風のように」関東へ

今年2月3日～6日、第28回関東地区高等学校写真展神奈川大会に出場した。制作したのは、榎本穂乃歌（卒業生）さんで、作品名は「風のように」。自県開催であったのでその他の写真部員も応援に駆け付けた。

吹奏楽部

2年振りの東関東大会

吹奏楽部は10月3日に千葉県千葉ポートアリーナで第27回東関東マーチングコンテストA部門に出場した。結果は銀賞。今回、披露した曲目は「タングルウッド・オーヴァージュア」など2曲で参加し会場を魅了した。

2022 東京総文

全国の舞台で向上魂を披露

書道部 全国で神奈川の向上を披露!

書道部は、今年度開催される「第46回全国高等学校総合文化祭書道部門」に出場する。大会は、7月31日(日)、8月2日(火)～8月4日(木)東京都台東区(東京都美術館)で開催。8月2日は、「かつしかシンフォニーヒルズ」にて開会式、講習会は翌8月3日に同会場にて行われる。他県参加生徒との交流会も予定される。

この度、出品する作品は、荻野加緒里(3年)さんが制作した隷書。作品名は「楊峴」、波磔に特徴のある隷書。県予選である県高校書道展では荻野さんの正確な臨書力や表現力に高い評価を得て、神奈川県代表となった。



とうきょう総文に出品する作品



新聞委員会 東京大会で上位入賞をねらう!

新聞委員会は、8月1日から東京都千代田区(三輪田学園中学校・高等学校)開催される第46回全国高等学校総合文化祭東京大会新聞部門大会に参加する。昨年度に行われた県高校新聞コンクールにて、最優秀賞を受賞し、全国大会への出場権を獲得した。全国大会では今年度も、研修取材も含めて感染対策を講じて、例年通りに実

施される予定。年間紙面審査の各賞受賞校の発表、表彰が行われる。本校は予備審査で入賞校に、上位表彰されることが期待される。

現地では交流新聞を作成するため東京都内の施設や名所などをグループ毎に取材。B4判両面での紙面作成となる。



最新号のこゆるぎ新聞

美術部 2年ぶりの全国 全国での活躍も期待!



梅澤さんの作品「潜伏」

美術部の梅澤芯さん(2年)は昨年の秋の県高校美術展で高文連会長賞を受賞し、全国の切符を手にした。今年の全国大会は、7月31日、8月2日～8月4日で東京都美術館(台東区)で行われる。

美術部門は各都道府県から推薦された「絵画、版画、彫刻、デザイン、工芸、映像」など約400点の作品が都内の会場で展示され

る。書道部門との合同展示となるので、本校書道部とともに活躍が期待される。

また、作品の講習会や生徒交流会では「パイオニアであれ」というキーワードをもとに、全国の生徒同士が楽しみながら切磋琢磨できる活動が予定されている。



後援会会計報告

いただいたご支援 有効に

昨年度も皆様方からのあたたかいご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

未だ続くコロナ禍で、感染対策を講じながら、熱心に活動している生徒たちのために、部活動をバックアップしていきたいと考えております。

今年度の後援会運営委員総会は、感染予防策を講じて、開催いたしました。

ここに、承認された令和3年度決算、令和4年度予算をご報告いたします。

(役員一同)

1. 収入の部 (単位: 円)

科目	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	備考
前年度繰越金	11,007,983	11,007,983	11,203,171	
協力金 1	5,400,000	5,400,000	5,500,000	新入生 550 名
協力金 2	800,000	431,146	500,000	一般協力金
利息	80	107	100	
大会補助金	140,000	50,200	140,000	
合計	17,348,063	16,889,436	17,343,271	

2. 支出の部 (単位: 円)

科目	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	備考
生徒後援費	6,000,000	5,216,410	6,000,000	
通信費	60,000	39,642	60,000	会報発送費等
雑費	250,000	61,338	255,000	お花代、会議費等
印刷費	300,000	287,808	300,000	「がんばれ向上」印刷等
委託費	500,000	42,900	500,000	協力金決済フォーム作成等
交通費	60,000	38,167	100,000	役員交通費
小計	7,170,000	5,686,265	7,215,000	
繰越金	10,178,063	11,203,171	10,128,271	
合計	17,348,063	16,889,436	17,343,271	

WHAT? 後援会とは

「在校生の保護者」、「卒業生」及び「元保護者」「向上高校教職員」を会員として、向上高等学校における部活動の充実発展のため、皆様から寄せられた協力金で、その活動を奨励、支援するための組織です。

協力金は、新入生の保護者より

10,000 円の拠出を得ると共に、会員の皆様から一口 3,000 円の協力金を募り事業資金とします。主な事業は、関東大会や全国大会に出場する部活動の援助です。

皆様一人ひとりが、本会の会員です。何とぞ主旨をご理解の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和四年度役員

(向上高等学校後援会規程抜粋)

会長 八巻 達也 (卒業生)
 副会長 横山 栄子 (卒業生)
 副会長 吉澤 正子 (保護者)
 副会長 水谷 正公 (教頭)
 書記 田中 修 (元保護者)
 書記 石井 崇 (教職員)
 会計 大石 視朗 (元保護者)
 会計 竹田 亮介 (教職員)
 監事 森田 武志 (元保護者)
 監事 武田 俊彦 (教職員)
 参与 山口 高史 (元保護者)
 参与 能條 恵子 (元保護者)
 顧問 直理 賀一 (校長)

編集後記

コロナ禍での部活動は、様々な制限があります。生徒は試行錯誤し、活動してきました。多くの大会

も無観客での開催。間近で応援できませんが、参加生徒へ応援する「気持ち」は届けたいと思う。